

下水道はヒーローだ

旭川市立千代田小学校

三年

ぼくは、世界のい人の本を読むことが好きです。その中でイタリアのレオナルド・ダ・ヴィンチを読んだ時に、町のつくりが今と昔ではとてもちがうということを知りました。レオナルドがいた時のヨーロッパでは、ペストというびょう気がくりかえしはやっていてたくさんの人たちが死んでしま。た。その時

町にはまだない水がいつもあ。て、レオナルドは、きれいで流れている水が大切だと言、ていたのを読んだ時にぼくはおどろきました。どうしてかという、今は下水道があるおかげでまだない水が町にそのままのこ、ていないことがあたり前だけれど、昔はそうではなかつたことが分。たからです。それでぼくは、下水道について知ろうと思いました。

下水道のおかげで、きれいな水をたもって、町がきれいでいられます。そのことで、人間

のけんこうや生生物にいいえをまようさあたえています。水がまたないといきんやウィルスがふえてびょう気になるけれど、そういうびょう気が広がることをきれいな水がおちえてくれています。そして、水がまたいなかかげで川や海にすむ魚などの生生物が生まていられます。また、下水道は町を守ってくれるやくわりもしています。たとえば、大雨にな、た時、雨水かんですみやかに雨を川に流してひかいさ少なくしてくれます。

そんなぼくたちを守ってくれている下水道のためにぼくたちがでるごことがあります。一つ目は、下水道に流してはいけないものを知り、流さないことです。たとえば台所でいものは洗ざいだけです。もし、あぶらを流してしまうとかたま、てしまい、下水道かんがつま、てしまいます。二つ目は、下水道やまたない水をきれいにして川にもどす仕事をしている下水しょ理場のやくめを多くの人たちに知、てもらうことです。そうすること

自分たちの町を自分たちで守ることができると
思います。